

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和2年6月8日

作成者：坂口武司

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
はたち会 (AC20 期同期会)	
事業名	日時 (期間), 場所
新春コンサート・懇親会 津軽三味線と民謡~和楽器アンサンブル「花鳥風月」 出演者 津軽三味線・民謡 翔田 光静(しずか) 津軽三味線 翔田光都里(みどり) 津軽三味線・民謡 翔田光也紀(みやび)	令和2年1月22日(水) 芦屋和奏 ころも (岩園町)
内容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
○コンサート (演奏曲目) 雷神・佐渡おけさ~津軽あいや節 花笠音頭・南部俵積み唄 津軽じょんから節 プロローグ~fun~・情熱大陸 帰ってこいよ・童謡 ふるさと ねぶた変奏曲・ソーラン節 <input type="checkbox"/> 民謡は参加者全員での手拍子・合唱 ○懇親会 モダンな和空間の創作和食レストランで新年を祝い、食事をしながら交流を深めた。	(46) 人
	参加者数
	(46) 人
成果 (社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
はたち会発足時から16年間、毎年1月に市民の皆さんと一緒にミニコンサートを開催してきました。参加者は、出演者と会場の都合によって異なりますが270名~45名。演目は、クラシック(ソプラノ・ピアノ・サクソ・オカリナ・ハーモニカ)・ジャズヴォーカル・カントリー・ブルース・ハワイアン・ラテン音楽・シャンソン・古箏。そして、今年度は迫力のある津軽三味線と伝統的な東北・北海道の民謡のコンサート。小さな規模のコンサートですが、はたち会と市民の皆様との交流を深めながら音楽を通じて少しは社会の活性化に貢献できているのではないかと考えています。継続は力なりです。特に今年度は伝統的な民謡を津軽三味線の伴奏で参加者全員が手拍子と合唱しました。出演者と参加者が一体となり「場」の雰囲気が大変盛り上がり、楽しい交流の会になりました。	

今後の展望（どのように継続，発展するか）

今後ともコンサートは毎年続けていきます。

年々「はたち会員」の高齢化と会員数の減少により、コンサートの規模拡大が難しくなってきたので、これからは、会員数を少しでも増やす努力をしていきたいと思っています。

一昨年の伍芳さん古箏コンサートでは芦屋市の補助金を受けて開催しましたが、これからも市民の参加者を増やしていくためにも、企画内容と会場の選定が出来れば申請したい。コンサートは出演者によって、ピアノの調律や音響等を含めて会場(場所)の選定にかなり苦労しています。

会場には公民館の音楽室を使いたいのですが、2か月前に抽選という規定があります。2か月前でコンサートを企画し準備するのは難しい。芦屋市の補助金を受けて開催する場合等は6か月前に会場が決められるような規定に変えていただきたい。